

奄美図書館だより

〒894-0016 奄美市名瀬古田町1-1 0997-52-0244
HP address: <http://www.library.pref.kagoshima.jp/amami/>
E-mail address: ama-lib@pref.kagoshima.lg.jp

2014・第68回「読書週間」 10月27日～11月9日

読書週間は、今年で第68回になります。終戦の2年後の昭和22年、また戦争の傷あとが日本中のいたるところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と公共図書館が力を合わせ、そして新聞・放送のマスコミ機関も一緒になり、第1回「読書週間」が開催されました。各地で講演会・図書に関する展示会が開かれ、その反響は大きなものでした。

それから60年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。

今年の「読書週間」の標語は、

めくるめぐる本の世界

です。作者の一人である井崎真代さん(東京都)は、「本を手にしてページをめくる時のワクワクした気持ちは、子どもも大人も変わらない。ページをめくって、本の世界を旅してほしい。そんな気持ちで考えました。いつでもどこでも自由にめぐるこのことができる本の世界を楽しむ人が、1人でも増えてくれるとうれしいです。」と述べています。本を通して、情報・文化と出会うだけでなく、人と人との絆をつなぐ本のすばらしさを感じます。

今年の「読書週間」が、多くの方々に本・読書のすばらしさを知ってもらえるきっかけとなることを願い、奄美図書館でも次のような催しを計画しています。

ぜひお越しください。

島尾雄雄記念室企画展 10/26(日)～11/15(土)

島尾雄雄記念室講演会 10/26(日)

〔島尾雄雄顕彰会理事 越前誠氏〕

書庫見学会 11/3(月)

読書週間ポスター・標語展 10/29(水)～11/9(日)



あまみならでは学舎⑤

9月20日(土)に、「あまみならでは学舎」5時間目がありました。「我が国を取り巻く安全保障環境と我が国の防衛に関する施策」と題して、航空自衛隊奄美大島分屯基地の杉山裕己さんが奄美通信隊と奄美分屯基地の概要や活動の様子、『防衛白書』をもとに日本周辺における安全保障環境の現状、防衛に関する施策の具体的な内容等を分かりやすく説明してくださいました。

6時間目は、「奄美の野生生物保護の取り組みについて」と題して、奄美野生生物保護センターの木村麻里子さんが講演してくださいました。受講を希望される方は奄美図書館へお問い合わせください。



平成26年度県立奄美図書館生涯学習講座 「あまみならでは学舎」今後の予定

実施期日	講座内容	講師
10/18(土)	奄美の野生生物保護の取り組みについて	奄美野生生物保護センター 木村 麻里子氏
11/22(土)	泥染めと共に歩む島唄	伝統工芸士、唄者 福山 幸司氏
1/17(土)	地域資源としての奄美の海洋生物	奄美海洋生物研究会 興 克樹氏

図書館ポータルサイトの利用について

利用者ポータルサイトとは、鹿児島県立図書館・鹿児島県立奄美図書館の利用者カードをお持ちの方で、パスワード登録をされると利用できるサービスです。本の予約や借りている本の予約の状況確認、貸出延長などができます。利用の仕方については、鹿児島県立図書館もしくは鹿児島県立奄美図書館のホームページを開いていただき登録をおこなってください。

<登録の仕方>

1 新規パスワード登録

- ・ 新規パスワードの登録を行います。
- ・ パスワードをお忘れになった場合は、再度、新規パスワード登録を行ってください。

2 ログイン

- ・ パスワードを入力して、サービスを開始します。

注意事項

- ・ 本の予約は、お一人5冊までです。
- ・ 貸出中の本に対してのみ予約ができます。
- ・ 予約したい本の所蔵館と受取館は同一でなければ予約はできません。

ネリヤカナヤ創作童話コンクール

第11回ネリヤカナヤ創作童話コンクールに、大島地区内の児童・生徒のみさんから219点もの応募がありました。どの作品も、奄美の豊かな風土・自然に抱かれて育った子どもたちの感性がかがやき、思いがこめられています。

11月1日(土)から奄美図書館に応募作品全てを展示します。また、第1回からの作品も展示します。ぜひ、ご覧ください。

審査結果発表: 平成26年10月24日(土)
表彰式: 平成26年12月7日(日)



参加してみませんか!



あまみならでは学舎 6

○日時 平成26年10月18日(土) 14:00～15:30
○場所 奄美図書館 4階 研修室
○内容 演題 「奄美の野生生物保護の取り組みについて」
講師 奄美野生生物保護センター 木村 麻里子氏

第13回大島地区「ふれあい読書フェスタ」

○日時 平成26年11月8日(土) 10:30～14:40
○場所 大和村体育館
○テーマ 「本は、みんなのおやつだよ
～読書で心豊かな子どもに～」
○内容 事例発表 学校における図書活動の取組について
(大棚小学校長 山之内 和英)
実演 パネルシアター・エプロンシアター
(大和保育所職員 高槻 昌代)
講演 「西郷隆盛の読書と詩作」
鹿児島県立図書館長 原口 泉氏

読み聞かせボランティア養成講座2

○日時 平成26年10月11日(土) 10:00～12:10
○内容 「読み聞かせ」についての講義・実習
「土曜日おはなし会」での実演
○対象 大島地区に居住する高校生以上の方
○定員 10名程度(7月の1回目を受講された方を優先とする)
○締切 10月4日(土)まで

※ お問い合わせは、奄美図書館まで。

〒894-0016 鹿児島県奄美市名瀬古田町1-1
TEL 0997-52-0244 FAX 0997-52-9634

10月の行事カレンダー



今月の新着図書コーナー

読書の風を
奄美から

月	日	曜	行事・催し
10	1	水	おはなしの森 15:30~16:00
	3	金	米国総領事館職員による講演会 17:30~18:30
	4	土	おはなしさんぽ 10:30~ 米国総領事館職員による英語絵本読み聞かせ 11:00~12:00
	6	月	休館
	8	水	おはなしの森 15:30~16:00
	11	土	読み聞かせボランティア養成講座 土曜日おはなし会 11:30~12:00
	14	火	休館
	15	水	おはなしの森 15:30~16:00
	18	土	あまみ子どもライブラリー10:00~11:00 あまみならでは学舎 14:00~15:30
	20	月	休館
	22	水	おはなしの森 15:30~16:00
	26	日	島尾敏雄記念室企画展(～11/15) " 講演会
	27	月	休館 読書週間(～11/9)
	28	火	休館(整理研修日)
11	29	水	「読書週間」歴代ポスター・標語展(～11/9) おはなしの森 15:30~16:00
	1	土	おはなしさんぽ 10:30~
	3	月	書庫見学会
	8	土	大島地区ふれあい読書フェスタ(大和村)
	15	土	あまみ子どもライブラリー10:00~11:00
	22	土	あまみならでは学舎 14:00~15:30

11月の休館日予告

4日(火)・10日(月)・17日(月)・25日(火)

26日(水)～30(日)(特別整理に伴う休館～12/5)

児童

へんしん! たまごにいちゃん
あきやま ただし 鈴木出版
ないしょのおともだち
ビバリ・ドノフリオ ほるぷ出版
てがみぼうやのゆくところ
加藤 晶子 講談社
図書館へようこそ!
赤木かん子 埼玉福祉会商品事業部
世界にほこる日本の先端科学技術 1
法政大学自然科学センター 岩崎書店
わくわく数の世界の大冒険 1
桜井 進 日本図書センター
その他78冊

郷土関係

奄美諸島編年史料
石上 英一 吉川弘文館
その他18冊

おすすめの本

ライオンのひみつ
マーガレット・ワイルド 国土社

町の図書館の入り口に、石でできた立派なライオンの像がありました。もちろん動くわけがありません。でも、ライオンは心をもっていたのです。そして、いつか動けるようになりたい、と願っていました。

ある雪の降る晩のこと、ライオンは、今にも凍えて死んでしまいそうな女の子と赤ちゃんを目にします。なんとかして二人を助けたいとライオンは強く思います。一見こわそうなライオンの優しい心にふれて、心があたたまってお話です。

一般

アイスブレイク
今村 光章 晶文社
子どもと楽しむ俳句教室
金子 兜太 誠文堂新光社
朝食朝メシ朝ごはん
カルビー株式会社 学研

その他149冊

小説・随筆

三国志読本
宮城谷 昌光 文藝春秋
帰らずの海
馳 星周 徳間書店
本屋さんのダイアナ
柚木 麻子 新潮社
新しいおとな
石井 桃子 河出書房新社
その他21冊

進学・ビジネス支援

一番わかる会社設立と運営のしかた
中野 裕哲 西東社

我、遠遊の志ありー笹森儀助 風霜録
松田 修一 ゆまに書房

明治26年に、奄美群島をはじめ沖縄や南西諸島を探検し、『南嶼探験』を記した笹森儀助の人物像に迫る本です。笹森は、もともと青森で生まれ育ち、役人をしていました。なぜ、南島を探検にすることになったのでしょうか。その後、学校長や市長といった顔ももつ笹森儀助。南島探検後、トカラ列島から奄美群島までを統治する大島島司(地方長官)を務めます。島司という役職に就きながら、大変質素な暮らしをしていたといひます。また、常に島民の立場に立つことを忘れなかったといひます。奄美にたいへん縁のある笹森儀助のことがよく理解できる1冊です。